

島谷ひろのり

しまや 議会レポート



プロフィール

- 出身: 青森県八戸市
- 生年月日: 昭和 55 年 2 月 13 日
- 学歴: 八戸工業高等専門学校 (電気工学科) 卒業
- 家族: 妻と長女・次女の 4 人家族
- 現住所: 日野市旭が丘 2 丁目
- 趣味: 野球観戦、ランニング、山登り

みんなの想いを力に変えて確かな未来を創る!!

令和6年第2回日野市議会定例会が6月3日から19日まで開催され、市長より提出された議案(物価高騰対応重点支援給付金などが盛り込まれた令和6年度日野市一般会計補正予算含む)や、市民からの請願8件など、活発な議論が交わされました。議員側から発議される一般質問については、22名の議員が登壇し、様々な課題提起、提案がなされました。

本定例会での審議事項や、一般質問で『島谷ひろのり』がピックアップした内容、トピックスも含め、以下、主な内容をご報告させていただきます。

■令和6年第2回定例会 議案等審議結果についての詳細は日野市議会HPへ
<https://www.city.hino.lg.jp/shigikai/gian/1026969.html> 日野市HP ページID 1026969



I. 子ども包括支援センター『みらいく』の開設について

子ども包括支援センター『みらいく』が令和6年5月27日にオープンしました。すべての子どもの健やかな成長を切れ目なく支援する子ども・家庭・地域の子育て機能の総合支援拠点として、子育て課、保育課、子ども家庭支援センターの事務所のほか、乳幼児と保護者の遊び場・交流の場である『子育てひろば』及び、中高生世代の居場所『中高生世代スペース』を備えています。



■施設案内 子ども包括支援センター『みらいく』~子どもも大人も 目的がなくても 来てイイトコロ~
<https://www.city.hino.lg.jp/shisetsu/shiyakusho/desakli/1026332.html> 日野市HP ページID 1026332



II. GIS(地図情報システム)の活用により日野市が米国企業の賞を受賞

7月に米国カリフォルニア州で開催される世界最大のGIS(地図情報システム)のイベントにおいて、GISの運用に顕著な功績があったとして、全世界30万以上の企業、政府機関、自治体などのユーザーの中から、日野市が国内団体で唯一「SAG賞(Special Achievement in GIS Award)」を受賞します。

■GIS(地図情報システム)とは

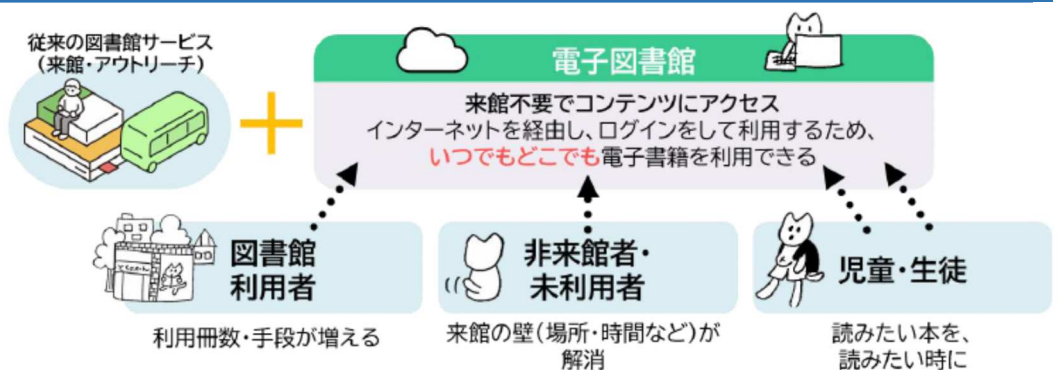
GIS(Geographic Information System の略)は位置情報を持ったデータを統合的に管理、加工し、視覚的に表現し、高度な分析や迅速な政策判断を可能にする技術であり、自治体業務のDX推進においては欠くことのできないツールです。

■日野市における(地図情報システム)の活用、受賞理由

◇ 日野市では20年以上前にまちづくり等の特定の業務で導入し、現在では全職員が利用可能な環境にあり、防災・災害対応やコミュニティ施策、福祉分野など様々な分野で活用が拡大しています。

III. ひの電子図書館サービス開始について (令和6年7月2日スタート)

ひの電子図書館の利用対象者は、**市内に在住・在勤・在学の方**(市立図書館の利用者カードがログインID)、及び市内の小・中学校に通う児童・生徒(9月ごろに学校用IDを配布予定)となります。



IV. 島谷ひろのり一般質問（概要）

〔1〕 新制度となる自治会活動補助金で、多くの市民が享受を実感できる“まち”に



□質問主旨 自治会活動に対する支援について見直しが成され、①自治会運営費補助金(加入世帯数による助成金算出)と②自治会活動費補助金(企画立案を重視した上限20万円の補助)の運用で令和6年度がスタートしております。

要綱は「総額予算を超えた申請の場合は、範囲内で一律で按分する」という規定で、各自治会内で企画した補助金申請額と大きく乖離する懸念もある。現状の申請状況、並びに予算を予測以上に超過した場合の日野市の姿勢について確認いたしました。

■令和6年度自治会補助金について 日野市HP ページID 1025941
<https://www.city.hino.lg.jp/kurashi/shiminkatsudo/jichikai/1025941.html>



●島谷ひろのり議員⇒「運営費補助金」の選択状況について、旧来方式と新方式の選択制になっている。(※1)申請状況によっては、当初予算額を超過することも懸念されるが、申請頂いた新旧の方式に分けた、速報値を伺う。

補足(※1)
旧方式⇒自治会エリア全世帯数 × 1世帯あたり240円
(加入・未加入に限らず、自治会からの申告方式による世帯数)
新方式⇒当該自治会加入者 × 1世帯あたり500円

◆日野市 新制度の補助金へ移行する見込みの自治会数は、230自治会中、約160自治会で、経過措置(旧制度)を適用見込みの自治会数は、約50自治会。また、例年補助金申請されない自治会は約20自治会と把握している。

●島谷ひろのり議員⇒「運営費補助金」について、旧制度の自治会が50自治会ということで、やや多いこと。これにより、自治会補助金全体の予算を圧迫することを危惧する。自治会活動費補助金の申請状況と、全体予算との現状分析について、伺う。

◆日野市 自治会活動費補助金の申請状況は、5月末の事前協議書の締め切り時点で60件。今後、申請内容が活動費補助金の趣旨や制度に合致しているかどうかを事務局として精査する予定。予算超過が見込まれる際には按分等の対応についても検討する必要があるものの、新たな補助制度の初年度でもあるため、できる限り自治会の取り組みの意向に沿った対応を行っていきたい。



〔2〕 川辺堀之内土地区画整理事業の完遂に向けた、市の姿勢を問う

□質問主旨 市民から見ても「川辺堀之内土地区画整理事業の進展、目に見えた変化が感じられない。」というご心配の声も多く、事業進行の現状、今後の支援体制強化の方向性含め、市の考えを質しました。

●島谷ひろのり議員⇒川辺堀之内土地区画整理事業の完遂に向けた、市としての「技術的支援と財政的支援」について、市の考えを伺う。

◆日野市 技術的支援について土地区画整合法第75条で、組合は市長に対して、専門的知識を有する職員の技術的援助を求めることができると規定されており、市職員が事務局を担うことも該当すると認識。

財政的支援については、公共施設の整備水準の見直しや、換地処分前の公共施設の管理引継ぎ等の検討が必要と考える。今議会の補正予算で計上した「土地区画整理組合助成金詐欺事件等に関する第三者評価事務経費」で、今後の支援内容を含めた市の総括についてその妥当性を評価し、今後の対応を判断する考えである。

●島谷ひろのり議員⇒川辺堀之内土地区画整理事業が完遂することにより、恩恵を受ける付加価値。将来の国道の一部のため、多摩地域全体の価値向上に寄与する事業であると認識する。元副市長問題に対する議会、市民も含めた説明責任を果たしていただき、早期の事業完遂に向け真摯に向き合っていただきたい。

■一般質問の録画中継は日野市役所HPで視聴できます。
<http://www.hino-city.stream.jfit.co.jp/>



市政や生活に対するお問合せはお気軽にご連絡ください。

島谷ひろのり相談室

TEL:042-581-8509 FAX:042-585-6005

E-mail:shimaya-kouenkai@fujielectric.com

HPとフェイスブックより活動内容をご覧ください。

島谷ひろのり
HP



お友達登録をお願いします!



編集・発行：島谷ひろのり後援会

住所：東京都日野市富士町1番地 TEL:042-582-3005 FAX:042-581-0133

豊田駅近く、富士電機東京工場東門より徒歩1分です。どうぞお気軽にお立ち寄りください。